

\*前期比：D I・季節調整済

景況

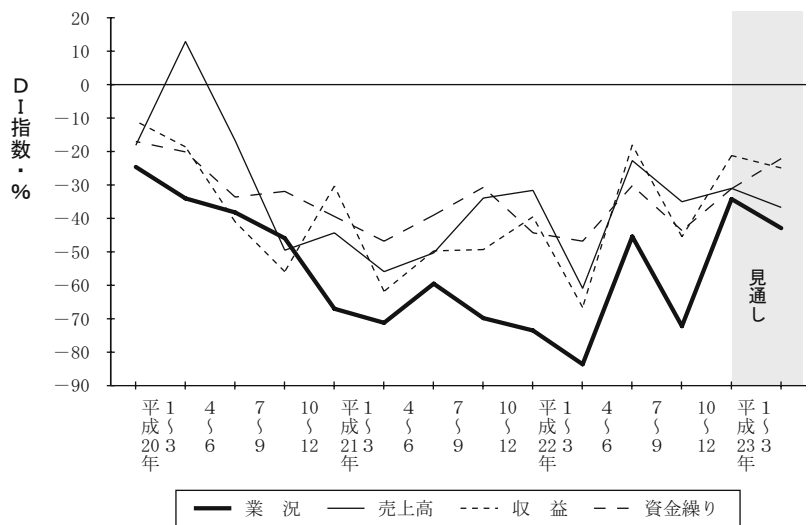
今期の業況判断DI値は-34と前期の予想DI値を22ポイント上回り、実績に比べると38ポイントと大幅に改善する結果となりました。売上、収益、資金繰りはともに改善しました。設備投資については、車両を中心に前期に比べ4ポイント増加し、19%の先が実施となりました。

来期の予想業況判断DI値は-43と今期より9ポイント悪化すると予想しています。売上、収益は後退し、資金繰りは改善すると予想しています。設備投資については、車両を中心に今期に比べ7ポイント減少、12%の実施と予想しています。

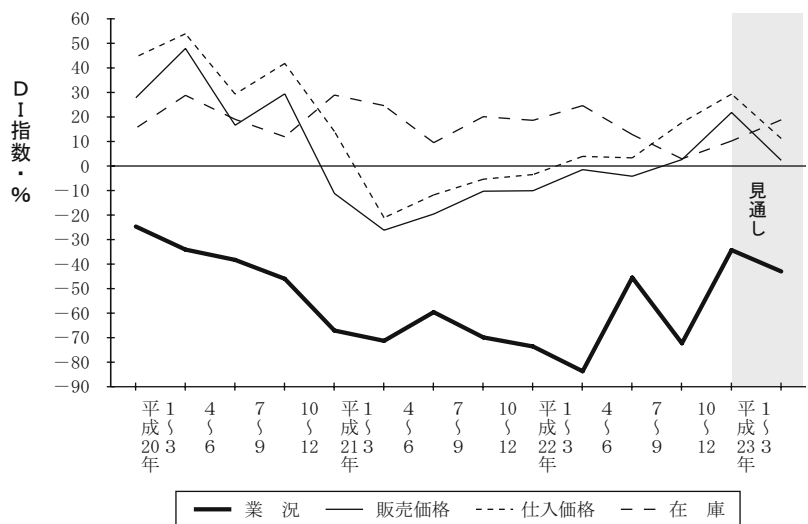
調査員のコメント

- 取引先からの受注確保並びに新規開拓等、社長中心に営業努力を継続中。(機械・工具卸売業)
- 家電エコポイントの影響により売上増加している。しかし、先取り感が否めず、来期以降が心配である。(電設資材卸売業)

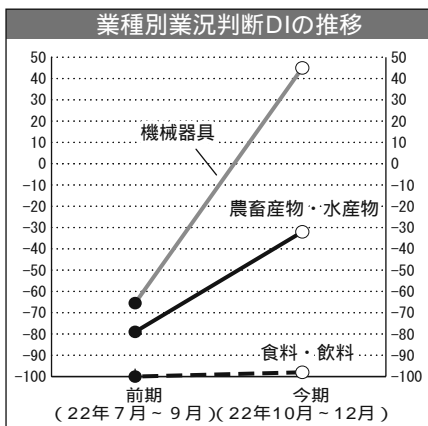
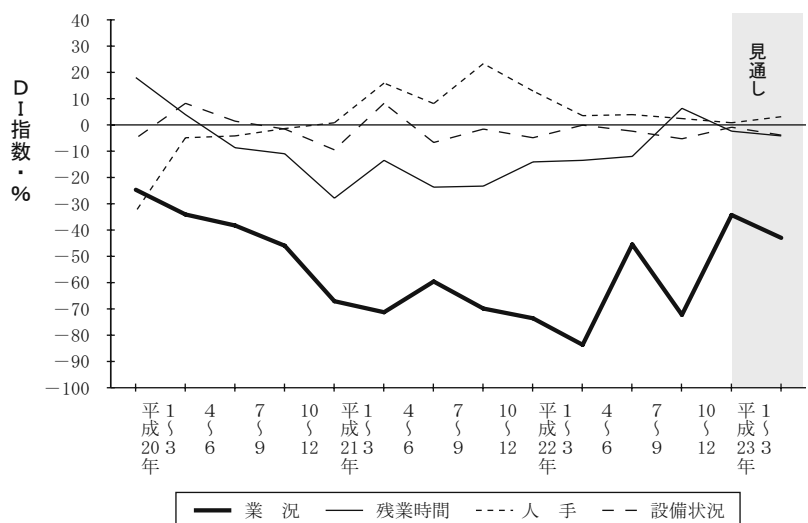
景況の推移



主な指標の動き



残業、人手、設備状況



経営上の問題点		
1位	売上の停滞・減少(1)	19社 (73%)
2位	利幅の縮小(3)	13社 (50%)
3位	同業者間の競争の激化(2)	11社 (42%)

当面の重点経営施策		
1位	販路を広げる(2)	18社 (69%)
2位	経費を節減する(1)	17社 (65%)
3位	情報力を強化する(3)	9社 (35%)

\*( )は前回順位 \*対象企業総数は26社